# 茨城県における流域治水の取組み

【資料３】③

## 1　氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策


○河道掘削・堤防整備・調節池整備　1

○土砂災害対策　2


## 2　被害の軽減、早期復旧・復興のための対策


○水害リスク空白域の解消（洪水浸水想定区域図の作成）　3

○水防情報メール配信システムの機能追加・登録可能人数の拡大　3


## 3　グリーンインフラの取組み


○千波湖導水事業　4

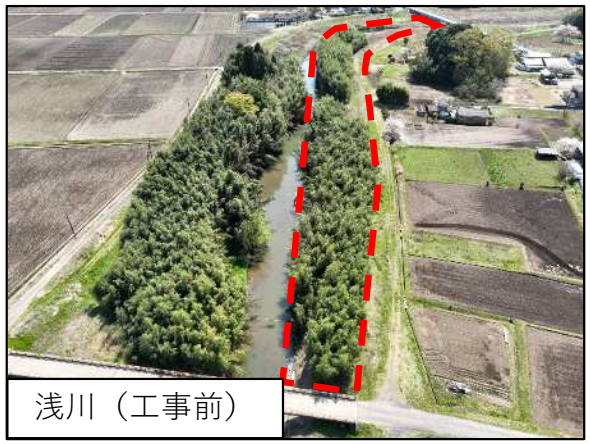
# 茨城県における流域治水の取組み

## 1　氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

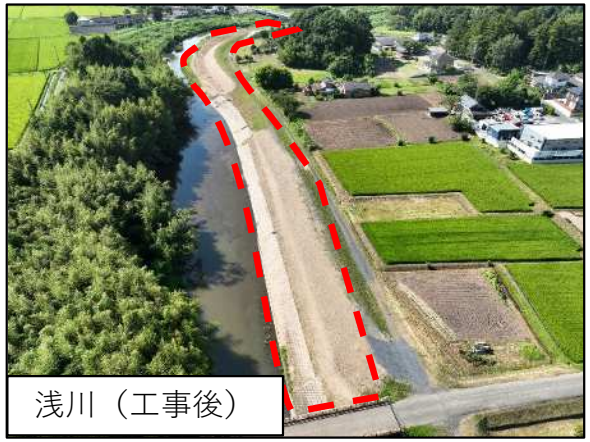
### ○堤防整備・河道掘削・調節池整備

洪水を安全に流す対策として、堤防整備や河道掘削、貯める対策として調節池整備などの河川改修を実施しています。

#### 堤防整備



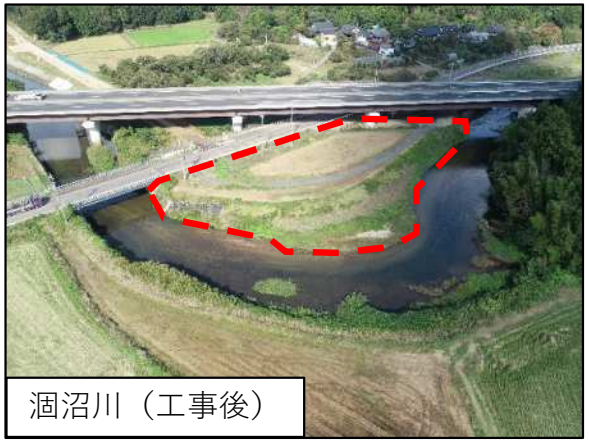
浅川（工事前）



浅川（工事後）

#### 河道掘削

涸沼川（工事前）



涸沼川（工事後）

#### 調節池整備

中丸川（整備イメージ）

中丸川（R6.3.1時点）

# 茨城県における流域治水の取組み

## 1　氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### ○土砂災害対策

土砂災害から住民の生命及び財産を守り、地域の安全・安心を確保するため土石流対策及び急傾斜地崩壊対策、地すべり対策を実施しています。

**砂防堰堤**

中嶋入沢（工事前）

中嶋入沢（工事後）

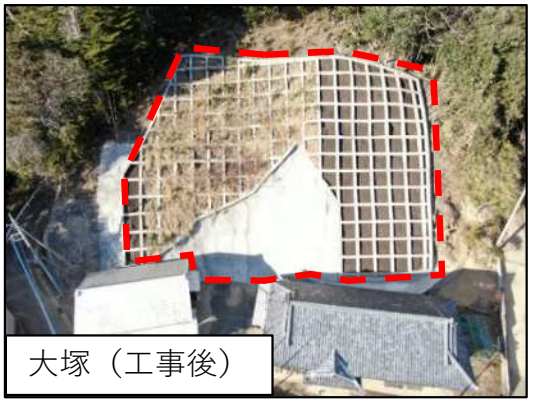
**急傾斜地崩壊対策**

日向前（工事前）

日向前（工事中）

**地すべり対策**

大塚（工事前）



大塚（工事後）

# 茨城県における流域治水の取組み

## 2　被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

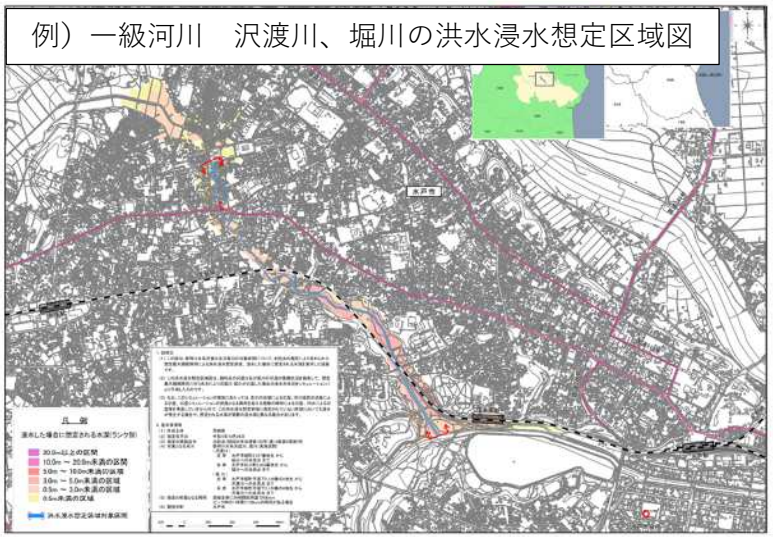
### ○水害リスク空白域の解消（洪水浸水想定区域図の作成）

県管理河川における水害リスク情報の空白域の解消を図るため、令和５年１０月２４日に、５６河川で洪水浸水想定区域図を作成・公表しました。

残る河川については、令和６年度中の作成を予定しています。

| 県管理河川 | 公表済河川 | 今回公表河川 | 未作成河川 |
|---|---|---|---|
| ２１６河川 | ２７河川 | ５６河川 | １３３河川 |

例）一級河川　沢渡川、堀川の洪水浸水想定区域図



### ○水防情報メール配信システムの機能追加・登録可能人数の拡大

洪水時等における水防情報（気象警報、水位観測情報等）の円滑な配信及び配信情報の充実を図るため、令和６年３月から新しいメール配信システムの運用を開始しました。

新システムでは、新たに「府県気象情報」、国管理河川の「水位到達情報」「水防警報」などの配信を行うとともに、登録可能人数を拡大したことから、水防関係職員に加え、消防団員（本部員、分団長等）の方の登録も可能となりました。

水防方法メールの配信例

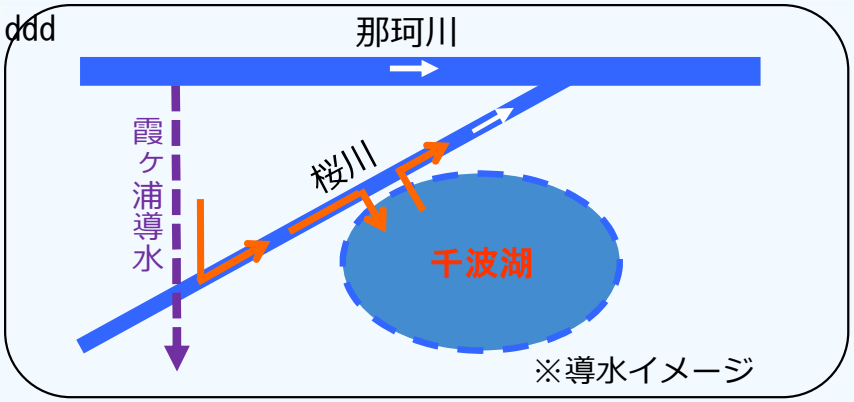
# 茨城県における流域治水の取組み

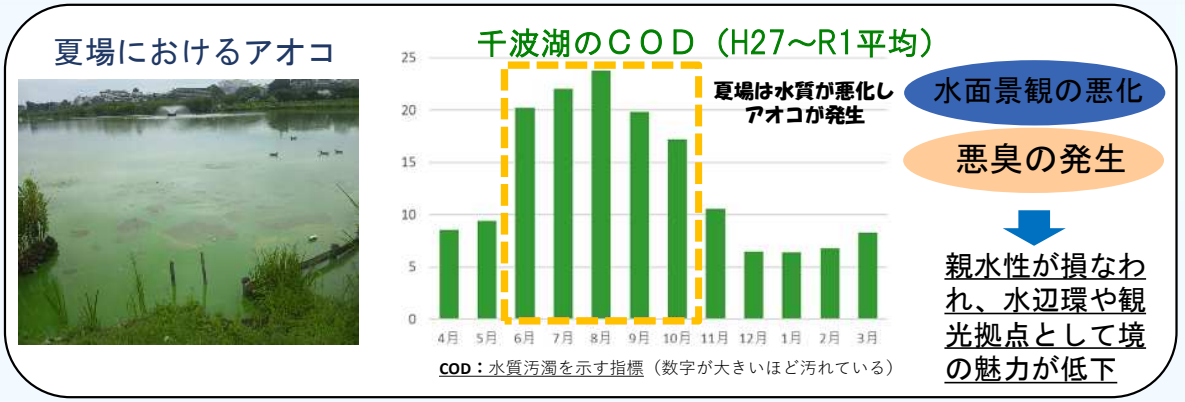
## 3　グリーンインフラの取組み

### ○千波湖導水事業

千波湖においては、水質が悪化し、夏場においてアオコが発生する状況であったことから、国・県・水戸市が連携し、霞ケ浦導水事業によって那珂川から取水した清浄水を桜川経由で導水することで、水質改善及びアオコの発生を抑制する取組を令和４年度から実施しました。

なお、現時点では、那珂川から桜川への導水は霞ヶ浦導水事業の本格運用に向けた試験通水であり、今後も効率的・効果的な運用に向けて国・県・水戸市が連携し検証を実施してまいります。




### 試験通水の状況

### 試験通水結果

・ R4及びR5の両者において、通水時にはアオコ集積の解消、水質の改善（COD、BODの低減）を確認することができた。

・ R4は継続的に通水ができたが、R5は流況等により通水できない期間が続き、R4ほどのアオコ発生の抑制、水質の改善が見られなかった。
⇒ 通水によるアオコ発生の抑制及び水質改善効果を確認することができた。
⇒ 効率的・効果的な運用に向けて、検証が実施していく必要がある。